

会議録

会議の名称	小中学校通学区域見直し等に関する谷戸町・泉町・住吉町・ひばりが丘地域協議会（第1回）
開催日時	平成22年6月28日（月曜日） 午後2時00分から午後4時00分まで
開催場所	西東京市立谷戸小学校 ランチルーム
出席者	委員：屋宮茂穂、清水理恵、藤原久子、青木由美、蔵方由紀、河野美晴、池田めぐみ、八巻真実、眞鍋五十鈴、齋藤雅子、前野陽子、齋藤勝利、木村守利、清水則之、門馬晶子、嶋田実穂、楠本善之助、羽田八三九、西嶋剛昭、西岡一美、米田明未、住田佳子、大野雅生、田代裕子、百瀬英子、佐藤裕子、二谷保夫 事務局：野崎芳昭（教育長）、櫻井勉（教育企画課長）、清水達美（教育企画課企画調整係長）、後藤幸男（教育企画課学務係長）、相澤潤子（教育企画課企画調整係主任）、坂本義隆（教育企画課企画調整係主任）、山岡昇（教育企画課学務係主任）
議題	1 開会 2 教育長あいさつ 3 委員の任命および依頼 4 自己紹介 5 会長の指名（副会長の指名） 6 資料説明 7 意見・質問 8 次回の開催日程について 9 閉会
会議資料の名称	資料1 学校施設適正規模・適正配置部内検討委員会報告書（概要版） 資料2 西東京市学校施設適正規模・適正配置検討懇談会提言書 資料3 西東京市学校施設適正規模・適正配置に関する基本方針 資料4 西東京市小中学校通学区域見直し等に関する地域協議会設置要綱 資料5 西東京市小学校通学区域見直し等に関する向台・新町地域協議会報告書 資料6 小学校通学区域と中学校通学区域 資料7 指定校にかかる現行制度について 資料8 谷戸町・泉町・住吉町・ひばりが丘の児童（生徒）の就学状況 資料9 学校選択申立者アンケート 学校選択基準の推移 資料10 西東京市谷戸町・泉町・住吉町・ひばりが丘地域協議会スケジュール（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

議題1 開会

議題2 教育長あいさつ

○教育長：

昨年度は向台・新町地域の通学区域を見直すために地域協議会を設置し、特例措置の解消を主たる目的として報告書をまとめていただいた。今年度も同様に様々な視点からご意見をいただき、課題・問題点を整理し、皆さんの合意形成をとりながら進めてまいりたい。

議題3 委員の任命および依頼

教育長から各委員に任命書（学校長）および依頼状（学校長以外）を授与。

議題4 自己紹介

各委員および事務局から自己紹介

議題5 会長の指名（副会長の指名）

「西東京市小中学校通学区域見直し等に関する地域協議会設置要綱」に基づき、教育長から大野雅生委員（ひばりが丘中学校校長）を会長に指名。会長から住田佳子委員（田無第二中学校学校運営連絡協議会）を副会長に指名。

議題6 資料説明（事務局から）

- ・資料1から10の説明
- ・資料2について

○委員：

「1、各校の学級数の適正規模はおおむね12～18学級が望ましいと考える」とあるのは、小学校に関してということなのか、中学校も含めてということなのか。

○事務局：

学校教育法施行規則をもとにすると、小・中学校ともに12～18学級が望ましいということである。

- ・資料6について

中原小学校の区域で飛び出している部分は、住友重工売却後宅地となり、新規に通学区域を割り振った部分である。

○委員：

中原小学校の子どもたちは、どこの中学校へ行くのか。

○事務局：

ひばりが丘中学校である。

議題7 意見・質問

○会長：

膨大な資料なので、検討はまだ難しい。今の説明では、特例措置を解消することが目的であると理解している。資料6で通学区域の図、資料8があるが、合わせて見るのが難しい。道路がよく見える地図、また地域を限定したものを次回までに用意してほしい。

○事務局：

分布図のような色分けしたものを次回までに作成したい。なお、資料1の補足説明だが、1枚目「指定校特例措置の状況」で赤い矢印により児童・生徒の流れ、太さで児童・生徒数を示している。

○副会長：

資料4で傍聴について規定されているが、どのような会場であっても傍聴許可するのか。また、持ってきてはいけないものなどは示されているのか。

○事務局：

基本的に傍聴は許可している。

○副会長：

会議録は作成されるのか。

○事務局：

要点記録の形式で作成する。誰がどんな発言をしたのかまでは表示しないので、きたんのない意見をお願いしたい。会議録は、次回会議の際に案として示し、委員の皆さんの承認後、情報公開したい。

○委員：

資料は前もって郵送してもらえると目を通してから出席できるので、お願いしたい。

○事務局：

前もって郵送できるよう、対応する。間に合えば、会議録も一緒に郵送する。

○委員：

中原小の通学区域である住友重工跡地の部分がどのような区域で分かれているのか、理解できない。どのような扱いになっているのか、現状を知りたい。

○事務局：

次回提出予定の分布図で示せると思うが、基本的にグランジオ武蔵野は谷戸小学校、戸建の部分は中原小学校の区域である。

○委員：

中原小学校の通学区域では、ほかに宅地開発もされているし、郵政宿舎の後にも何かできると聞いている。そのような情報は教育委員会で把握しているのか。また、中原小学校は建替の話が出ているが、建て替えるならどの場所なのか。それによって学区域の決め方も変わってくるのではないか。

○事務局：

マンションの新築についての情報は、大体把握しており、児童・生徒の推移は、今後資料で示していきたい。中原小学校の老朽化への対応については、既に説明した資料3の中の「(2)大規模化校への対応」を参照していただきたい。中原小学校の建替候補地には、ひばりが丘団地建替に伴う売却地も検討とある。ただし、建替も含めた検討は、この協議会の中で全てやるのは難しい。現状の特例措置制度の解消を第一に目指していただきたい。建替については、まず教育委員会の中で検討し、大体固まってきたところで、この協議会の中でもご意見をお伺いしていきたい。

○会長：

中原小学校の建替の話が出たが、資料10によれば、平成24年度から通学区域の変更をするところ。そうすると、建替のことを話し合っていたらこの会議自体が成り立たないと思う。まず、現状の子どもたちの流れを検討し、特例措置を解消することを考えないと、協議会の流れが進まないのではないかと理解している。その方向で会議を進めていきたい。

○委員：

平成24年度が来る前に、中原小学校は教室が足りなくなるのではないかとされている。その場合、新1年生には役所の人から谷戸小学校へ入学するように人数調整をしてもらえるのか。

○会長：

この協議会は特例措置の解消を目指している。気持ちはわかるが、中原小学校のことだけ考えていると、会議が成り立たなくなる。本来の目的を押さえてほしい。

○副会長：

私からも通学区域の見直しが本来の目的であることを押さえていただくよう、お願いしたい。

○会長：

中原小学校からの希望もあるが、通学区域の見直しということに絞って検討していきたいが、事務局はそれで良いか。

○事務局：

それをお願いしたい。

○委員：

市のHPなども見たが、もう通学区域の具体的なプランが挙がっているのではないか。新しいことを考えてほしいのか、すでに決められているプランから選んでほしいのか、議題を鮮明にしてほしい。

○事務局：

心配は十分承知しているが、現状の中原小の教室数は、足りなくなるということはないと考えている。平成26年に児童数はピークを迎えるが、その後は減少していくと予想している。通学区域の具体的なプランはまだない。建替については、平成21年度実施の耐力度調査をもとに今年度から検討していきたい。

議題8 次回の開催日程

○会長：

スケジュールでは月1回開催とあったが、今回新たに資料要望もしたので、その準備期間も考慮し、8月4日（水曜日）午後2時から中原小学校で開催したい。

議題9 閉会